

**⑨ 船舶版アイドリングストップの推進 ～環境省、海事局、東京都との連携～**

接岸中の船舶が必要とする電力を、船内発電から陸上施設からの供給へ切り替えること(船舶版アイドリングストップ)を推進することにより、港湾地域におけるCO<sub>2</sub>、SO<sub>x</sub>等の排出ガスを削減し、大気環境の改善を図る。

**⑩ 全国海の再生プロジェクト ～都市・地域整備局、海上保安庁、河川局、農林水産省、経済産業省、環境省との連携～**

水質汚濁が慢性化している閉鎖性海域の水質環境改善を図るため、関係行政機関の連携により策定した行動計画に基づき、総合的に施策を推進する。

**⑪ 船旅の魅力再生等と連携したみなと観光振興の推進 ～海事局等との連携～**

みなと観光交流促進プロジェクトやみなとオアシスの担い手の協議会(港湾所在市町村、地元NPO等が中心)などによる活動を持続可能な取り組みとするため、「船旅の魅力再生」などの協力主体である旅行業界や旅客船業界と連携し、みなと観光の商品化等を支援する。

**⑫ 子ども体験型環境学習の推進に資する海浜等の整備 ～文部科学省との連携～**

子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、関係機関や団体等が協働して行う体験型環境学習の場ともなる海浜等を整備する。

## IV. 新規事項

### 1 主な新規着工施設

事業名 [事業主体]	整備期間 (年度)	港湾整備 事業費 (億円)	事業内容
東京港 中央防波堤外側地区 国際海上コンテナターミナル 整備事業 [関東地方整備局]	H19～H24	489	国際海上コンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、国際海上コンテナターミナルの整備を行う。これにより、約87億円/年の海上輸送費用の削減効果が得られる。
横浜港 南本牧ふ頭地区 国際海上コンテナターミナル 整備事業 [関東地方整備局]	H19～H24	320	国際海上コンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、国際海上コンテナターミナルの整備を行う。これにより、約96億円/年の海上輸送費用の削減効果が得られる。
東京港 中央防波堤内側地区 複合一貫輸送ターミナル 整備事業 [関東地方整備局]	H19～H24	74	内貿ユニットロード貨物の増加や船舶の大型化に対応するため、複合一貫輸送に対応した国内輸送ターミナルの整備を行う。これにより、約13億円/年の海上輸送費用の削減効果が得られる。
水島航路整備事業 [四国地方整備局]	H19～H27	196	船舶の大型化や航行隻数の増加に対応するため、開発保全航路の整備を行う。これにより、約29億円/年の海上輸送費用の削減効果が得られる。
和歌山下津港 北港地区 航路・泊地整備事業 [近畿地方整備局]	H19～H20	11	鉄鋼原料を輸入する大型船が安全かつ効率的に運航できる状況とするため、航路・泊地の浚渫を行う。これにより、約4億円/年の海上輸送費用の削減効果が得られる。